昭和26年 3月20日（火曜日）第247號　　磐城毎日新聞　　種別 第三種郵便物認可（一）　第621號 昭和二十五年十二月二十六日 磐城毎日新聞社 昭和二十六年三月十七日 特別承認 國鐵便

磐城毎日

平市大字平町字田部15丁目12番地
磐城毎日新聞社
代表者 遠藤孝倫
印刷兼発行人
電話（平）一〇一番
定価1ケ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

迎歡稿投

平市自由クラブ結成大會盛會裡に終る

自由黨の政綱政策を市民に浸透せしめ國民生活の向上を圖ると共に戰災に依る平市復興と發展策に寄與する目的で平市内に在住する自由黨員有志によつて結成する平自由クラブの結成大會は既報の通り十八日午後四時より公會堂日本間に於て開催する豫定の處定刻より約一時間遲れ午後五時開會された、開會の頭初は出席者を競輪に奪はれ百名足らずであつたが競輪のレースも終了と同時にドツト押し寄せ閉會時には三百名に達する盛況であつた發起人代表市議石山一治氏開會の辭を述べ滿場の同意を得て市議木村淳氏を座長に推し木田藤次郎氏より結成に至るまでの經過報告があつて議事に入り規約の審議、宣言決議を行つて役員の選擧に移つたが伊東一氏の動議により座長一任となつたが木村座長は理事長に縣議の馬目武之助氏を推薦し他の役員は理事長に一任したい旨を諮り滿場の同意を得、馬目理事長の就任挨拶があつて座長を馬目理事長と交代し馬目理事長より顧問、常任理事、理事は人選の都合上後日推薦する事としクラブの運營上一日も欠く事の出來ない事務局長に木田藤次郎氏、會計監督に木村淳白木正一の兩氏を推薦し議事を終り來賓として縣會議長蓮沼龍輔、好間村議會議長森永太郎兩氏祝辭を述べ結成大會を終り市議眞木桓氏の閉會の辭があつて盛會裡に午後六時散會した、尙同クラブの事務所は市内田町一九蓮沼氏宅に置く事に決定した

通は普通どこでも七、八レースが最高の賣上になるのですが、これはこのレースがA級の優勝爭となるためでなれたファンならこのレースの穴をねらいますね、平も次第にそうなる事でしようと語つている、第二日の穴は連勝式八レース二千七百二十圓單勝式二レースの千十圓であつた、豫想屋は殆んどあてられず全く平程豫想屋泣かせはないがこれは充分練習をつんで選手が成長したためで本當の競輪の面白味もこれからであり平競輪ファンの成長もこれからでしようと市役所競輪室では語つている

第二回平競輪の前節

車券賣上げ順調を辿る

薫風と共にめぐり來つた第二回平競輪については既報の通りであるが「赤字」とか「失敗」とかの聲をよそに春風に乘つて自轉車のペタルは廻轉し、つめかけた第一日の觀衆は僅か千九百七十二名といふ勿れ車券賣上は二百八萬六千四百圓に上つた、穴は連勝式五レース二千四百三十圓單勝式同じく五レース千三百六十圓並であると言はれる、競輪曜日更に絶好の小春日和風であつた、續く第二日は日こそ少し强れファンは續々つめかけ三千九百四十五名ざつと四千、車券賣上は處女競輪の最高二百九十八萬圓を遙かに上まわつて三百六十三萬四百圓に達した特に最高賣上は六レースの五十二萬六千七百圓でこの金額は成年期に達した東京

郷土の巨星故星一氏

追悼會嚴肅に執行さる

郷土の生んだ巨人故參議院議員星一氏の追悼會は十八日午後一時より平市公會堂本館に於て遺族靖子未亡人令息親一氏、令孃鳩子さん並に故法博花井卓藏氏の長男花井忠氏、星製藥の日村重役、發起人木村清治氏外一般參列者約百名、大野村藥王寺を中心に結ばれている遍照講の講中の善男善女約百名參列し嚴肅に執行された、定刻野崎滿藏氏の開會の挨拶に次で子鍬倉神社の山部神職を齊主として北白土八幡神社の加藤神職によつて慰靈の神事を執行され遺族を代表し令息親一氏遍照講中代表藥王寺住職、星製藥代表日村重役、發起人代表木村清治氏、一般參列者代表伊藤淺之助氏等の玉串奉典があつて講中の善男善女によつてしめやかな詠歌和讃の奉詠があり、參會者の追憶、追悼談に移り次の各氏によつて行はれた

△元代議士木村清治氏は明治十九年以來約六十年の永い期間の交友を忍び涙と共に故人の德を讃え

△花井忠氏は三十年間の故人との交友を語りその偉大な人物を賞揚し

△星製藥日村重役は星製藥を中心として故人の活躍

△本社編集長山野邊正善氏は一般に余り知られてない故人の滿州に於ける偉業を紹介して故人を忍び

△錦町篠原德雄（七九）氏は故人と小學校時代の同級生として故人の小學校當時

振りを述べ非凡な企業家としての實情を披歷し

右の如き追憶談によつて何れも參會者に深い感銘を與え令息親一氏遺族を代表して謝辭を述べ縣議星友太郎氏の閉會の辭があつて午後三時三十分散會した

謎の失踪事件の當人

四ケ月目に平市署に自首

十八日午前四時三十分頃赤井村西小川小沼平相川炭礦採炭夫菅木七郎（五三）方床下で突如ダイナマイトが爆發し丁度就寢中であつた菅木の內緣の妻日傭婦安積キヨ（四五）さんは紛ミヂンに吹つとんで即死、キヨ子さんの側に寢ていた長男正一（一三）君は爆風のために庭の先えはねとばされ兩足頭部に全治一ケ月間の重傷を負つたまた二女スミ子（一三）二男則夫（一〇）の兩君も夫々手足に二週間の傷を負つた、平地區署では近所の小山金男さんの急報によつて直に現場え急行したが同日の午前二時頃まで爭つていた夫菅木七郎の姿が見えず直に指名手配した、被害者キヨ子さんは二十年の春頃長女ミヨ子（七）さんをつれて菅木と內緣關係を結び現在の小沼平農業小山福男さん方の離れの四疊半をかりて同棲生活をしていたが菅木が酒癖がわるく年中夫婦喧嘩が

ダイナマイト爆發內妻即死

三兒重傷、痴情の夫の仕業か

たえず別れ話も出ていた程であつた、また菅木が長女連子のミヨ子さんに色目を使つていた等との噂さえも流れており喧嘩別れが主因であるらしい、長女ミヨ子さんは同夜の夫婦喧嘩のはげしい事から附近の齋藤信一さん方え逃げていたため難をのがれた、菅木は十九日正午現在まだ擧つてない

十八日の列車取締　白米十俵を押收す

平鐵道公安室では十八日午前八時五分平着常磐線上り急行二一二列車の一齊取締りを行い無主物白米六十三個十俵を押收した

田人寄合會外共催　社會教育の振興會

田人村青年會、PTA、婦人會共催の社會教育振興會は十九日午後一時より田人村小學校において開かれた教育映畫、社會問題をあつかつたナトコなど上映、教委石城出張所より草野、高木兩氏が出席現下の社會問題について懇談した

十九日晩は北西の風一時やや强くはれ時々曇り氣溫がさがります
二十日北西の風日中南よりの風となりよい天氣
廿一日北乃至北西の風晴ときどき曇り海上は風波が立ちます船舶は御注意下さい

春の百貨市
春の流行服地
新學期用品
平市銀座 越藤越 電話 265 1280 1281 1282

春の
純毛セーター
¥1.265より
メリヤス製品
純綿アンダーシヤツ
¥360
平市3丁目 東平 電1144

昭和25年7月6日
(二)　第三種郵便物認可　昭和26年(1951)　磐城毎日新聞　3月20日（火曜日）第247號

平市の名士を訪ねて

圓熟した品格

大泉信雄氏

霜を交じえた頭髪、ドッシリと落着いた巨漢、四角な顔ながら穏かに語る大泉商店主人信雄氏は本年五十八才大きい顔の中に時々眼が鋭く光る、火鉢に手をかざし初老の域に入つたこの商店は中軸以上で當選疑いない處である、馬上君の持舞だが、一献を傾けたと來ると全く別人の觀を呈し來たり議長を夢みて、今度は議長は俺をのぞいては他にないと遂に自稱議長で持ち切りである、元來馬上君は君の言ぶ樣に果して、議長が適任であるか、適材であるかと云ふに至つては、そうそうは問屋で卸さないではあるまいか、先輩もあり古參もある、その中に大變な、秀抜的の人物と云ふのでもない平凡から見て上まわる位の人物は實は幾人もある自ら議長適材と口にするとは呑んだ時に馬鹿バヤシの樣なもので却つて馬上君の人物を下劣にして仕舞ふ外に何物もないと云ふ世評を共儘書くだけの事であるが心あるものは滑稽的な茶番狂言位にしか考へて居ない兎角第二區は變り種子が多いのは他の企及し得ないものがあるようである

×

町議選擧の前奏曲

…（小名濱支局）…

（第二區の卷）1

第二區は小名濱町に於て心議としての濫觴であるから一期中の經驗から見ても紅一點では物淋さを感ずる、少くとも三名位の女性が當選しないでは婦人代表としての活動は何一つ出來ないと云ふ結論が出た、議會は婦人町議を歡迎して已まぬだろう、金澤君の存在であるが、縣土木課に職を奉じて小名濱町に來て、轉職して司法書士となつたのは最早十五年安々と地歩を固めて遂に小名濱町の住民として物差しの世評を外に家屋を需め、邸宅を新築すると云ふ豪勢ぶりは他の羨望の的となつて居る、町議として二十一年初舞台で當選し引續いて本年亦出馬を聲明して運動を怠らない恐らく藏部だけに選出議員も數が多い現議員としては比佐政一點では物淋さを感ずる、少くとも三名位の女性が當選しないでは婦人代表としての活動は何一つ出來ないと云ふ結論が出た、議會は婦人町議を歡迎して已まぬだろう、金澤君の存在であるが、縣土木課に職を奉じて小名濱町に來て、轉職して司法書士となつたのは最早十五年安々と地歩を固めて遂に小名濱町の住民として物差しの世評を外に家屋を需め、邸宅を新築すると云ふ豪勢ぶりは他の羨望の的となつて居る、町議として二十一年初舞台で當選し引續いて本年亦出馬を聲明して運動を怠らない恐らく種、馬上喜一、小野務平、江尻三睦郎、高木忠治、小野禮一、近藤かぬ、坪内清立花秀吉、金澤勉、鈴木治作、佐藤貞吾の十二氏に上つて居る、そして新顔としては、飯塚勝君の一人であるが、現議員が何れも再出馬を聲明して居る、唯比佐君は海區調整委員であるので第一區の齋藤議員と同樣どうなるかが疑はれて居る天狗食堂の主人鈴木治作君は料飲店組合を背景として出馬したものだが、先頃大地震で料飲店も三本建てが一本建となり組合長が飯塚勝君に落ついたので出馬を斷念するの止むなきになつたと傳へられて居る、江尻君の存在は、町議格でなく縣議格の人物として期待が大きい、近藤さんは萬緑紅一點と云ふ唯一の婦人町議であるが、再出馬を聲明して居る、今期は他にも婦人候補が出馬する風評もあるから紅一點は古い者と化して今度紅三點位となるとも見られて居るが、近藤さんは何と云つても、婦人町

平西部青年連合會

本月下旬野球大會を催す

平市西部青月連合會では去る成人の日に雪どけのため豫定された野球大會が實施不能となり延期されていた事は既報の通りであるが來る二十四二十五の兩日西部十三町の對抗野球試合が平第一小學校に於て行ふ、なお組合せの抽籤は十七日安田眼科醫院で行ふ、青年部少年部の日程左の通りである

△少年部二十四日午前九時より市長盃爭奪戰
△青年部二十五日西部選出市議奇數優勝盃爭奪戰女

平市自由クラブ

決議された宣言並に規約

平市自由クラブは別項所報の通り盛會裡に結成大會を終了し今後の政治的活動を期待されるに至つたが、當日決議された宣言並に規約は次の通りである、

宣言

高度の平和文化を目指す民主主義的新日本の建設には經濟復興産業の再建を第一とせねばならない、

今や我が國は人類の最大愚擧たる戰爭に因つて創痍滿身、まさに窮迫のドン底に追ひ込まれてゐる、然して敗戰後既に滿五ケ年有半を經過する今日、敗戰の虚脱と混迷から敢然と立つて後圖を策さずんば祖國日本の前途をどうするか、此の際時局匡救の途は國家收支の均衡、新物價体系の堅持、勤勞階層に對する生活可能賃金の保障、早期講和の促進等々即ち現內閣の政策具現に活力あらしめ國民大衆の要望に應へて祖國新日本建設の大道を歩まんとするものである、

敢て宣す

昭和二十六年三月十八日

規約

第一條本クラブは平市自由クラブと稱す

第二條本クラブは平市內に在住する自由クラブ員を以て組織し自由黨の政綱政策を浸透せしめ吾れ等國民生活の向上を圖り且つ戰災に依る平市復興と發展策に寄與するを以て目的とする

第三條本クラブの事務所は平市田町一九に置く

第四條本クラブ員はクラブ維持のためクラブ費を納入するものとす但しクラブ費は一ケ年金五十圓とする

第五條本クラブに入會せんとする者はクラブ員の紹介に依り理事長に入會申込書を提出する

第六條本クラブ員中規約を紊し名譽を傷け其他不都合の行爲をなす者あるときわ之れを役員會の議を經て除名することがある

第七條本クラブに左の機關を置く

顧問　若干名
理事長　一名
常任理事　若干名
理事　若干名
事務局長　一名
會計監督　二名

第八條顧問は理事長の推薦に依り役員會に於て決する、顧問は重要事項に就き理事長の諮問に應する

第九條理事長、常任理事、理事、事務局長、會計監督は總て公選とし本クラブの事務を執行する

第十條役員會は本クラブ組織運營に關する重要事項を決する、役員會の議長は理事長とし理事長事故ある時は筆頭常任理事之れに當る

第十一條事務局長は理事長を補佐し本クラブの事務を執行する

第十二條本クラブの總會は毎年一回之れを開く但し必要に應じ臨時總會を開く

第十三條本クラブの經費は會費寄附其の他の收入を以てこれに充てる

生徒募集
本科……150名
研究科……50名
速成科(夜間)……50名
願書受付中・內容規則書進呈
公認　平高等洋裁學院
平市紺屋町21　電175番

主食販賣業者
平で業務指導
平市では二十日午後一時より公會堂日本間に於て縣より係事務官臨席のもとに主要食糧の卸業者並に米の小賣業者に對し主要食糧新配給制度に伴う業務指導打ち合せ會を催す

宣伝にサービスに
広告マツヤ
注文は　さかいや
平市六丁目　TEL485

あらゆる印刷は
大和田印刷所へ
平市中町　電七二九番

雜役一名求む
旅館　山榮荘　電二九四番
同別館

生徒募集
常に最新式の教授法!!!
傳統を誇る洋裁!!!
願書受付　二月十日—四月五日迄
▲本科　一五〇名　▲研究科　五〇名
平市立公認　千草洋裁學院
平市三崎町四〇（電八九一）

うまい!!
安い!!!
好評の
シュウマイ
中華そば
和食＝洋食
三丁目
平会館
電六二四

21日～25日迄
アガデミー主演賞に輝くゲイリイクーパーの名演技クーパー最高の傑作
アメリカヒューマニズムの豊かな愛情と偉大な人間とを統に得さしに描いた映畫はない
ゲイリイクーバージョーンレスリー
ウオルタープレナンジョージトヴアス
主演
ヨーク軍曹
聚樂館

本場＝自慢
牛肉豚肉
配達迅速
第一線屋
第二線屋
第一　電話五三九番
第二　電話七九四番